



今年も高知新聞企業の主催により、9月1日に金婚夫婦祝福式典が県下6会場で開催されました。四万十町からは金婚を迎えられた19組(出席は18組)のご夫婦が参加され、須崎プリンスホテルで多くの方から祝福を受けられました。

(敬称略)

金上野	生田 保 (79)	浩 子 (72)
与津地	市川 正嗣 (75)	光 子 (72)
七里	奥宮 敏男 (73)	通 子 (72)
琴平町	桑原 静夫 (81)	喜久美 (74)
興津	佐藤 要 (81)	教 恵 (75)
井崎	鈴木 隆敏 (80)	幸 子 (75)
作屋	高橋 善正 (73)	紀 子 (71)
大井野	竹内 淳悟 (76)	光 子 (72)
大正	田辺 猛 (73)	留里子 (72)
戸川	中平 憲二郎 (74)	美與子 (69)
戸川	林 肇男 (75)	金 實 (69)
北琴平町	羽屋戸 正信 (79)	美 美 (74)
茂串町	水口 道保 (71)	澄 子 (70)
大正	山崎 勝朗 (78)	三重子 (75)
野地	山田 隆三 (78)	美知子 (71)
東川角	吉本 匡一 (76)	春 代 (72)

敬老の日 ご長寿訪問

9月18日の敬老の日、中尾町長、森副町長、健康福祉課長がご長寿の方々を訪問しました。この訪問は毎年行っているもので、今年は34名の方を対象に訪問し、長寿のお祝いをしました。なお、本町の最高齢は仁井田に住む108歳の吉本常興さんです。



わんぱく学校宿泊研修

四万十町わんぱく学校では、小学校4年生から6年生を対象に夏季宿泊研修を実施しました。4・5年生は42名が参加し国立室戸青少年自然の家で8月2日～4日に宿泊研修を行いました。研修では、スコアオリエンテーリングや流木クラフトの作成、室戸ジオパークセンターなどを見学しました。

また、6年生はジュニアリーダーを含む15名の参加により、国立大洲青少年交流の家で8月23日～25日に宿泊研修を行いました。研修ではウォークラリーやカヌー、クライミングウォールなどを体験し、どの学年も宿泊研修を通じて学校区を越えた交流を深めました。



影野小学校の児童たちが 日本道路協会会長表彰(道路愛護)を受賞しました

9月4日、町内で道路愛護のボランティア活動を長年にわたり行っている影野小学校(大崎博司 校長)がその長年の取り組みにより、平成29年度日本道路協会会長表彰(道路愛護)を受賞し、山田中村河川国道事務所長より影野小学校の児童たちに表彰状が伝達されました。

影野小学校(影野小ボランティア隊)は、通学路である一般国道56号沿線において、平成11年から積極的に道路の清掃活動や植栽活動を行っており、平成20年には、国土交通省のボランティア・サポート・プログラムにも参加しています。

今回の受賞は、こうした長年の道路愛護の取り組みに感謝し贈られたものです。



平成29年度 ふしぎ体験 ワクワク科学実験 in 四万十町

8月24日、窪川高校と四万十町教育委員会の共催で、ワクワク科学実験を開催しました。このイベントは、科学の面白さや身の回りの自然の不思議さに目を輝かしてもらうことを目的に開かれたもので、町内の小学3年生以上の児童19名が参加しました。

今回は、①浮き沈みの不思議②スライムをつくろう③プラコップを飛ばしてみよう④



▲空気砲にワクワクドキ

ひんやり実験⑤スタンプをつくってみよう⑥動くパークラフトという6つの実験観察を準備し、その中から選んだ3つの実験に挑戦しました。

科学実験で作成したプラコップを中庭で飛ばしたり、スライムが身近な材料で簡単に作れることに驚いたり、発泡スチロールをミカンの皮で溶かしてスタンプを作成するなど本校教員と窪川中学校理科教員、窪川高校生と一緒に科学を楽しんだ一日となりました。



▲プラコップ、スライム作成中

四万夢多が県内外で 四万十町をアピール

町内在住者などで構成される四万十町のよさこいチーム「四万十町よさこい踊り子隊 四万夢多」が県内外で四万十町をアピールしてきました。

チーム結成5年目となる今年は、8月10日、11日の2日間、高知市で開催された「第64回よさこい祭り」に参加したほか、8月25日から27日には、愛知県名古屋市で開催された「第19回につぼんど真ん中祭り」に高知県代表として参加し、約200万人の来場者の前で踊りを披露。四万十町をアピールしてきました。

今年は県内外で開催される約30のイベントで演舞する予定となっていますので、今後とも温かいご声援をよろしくお願いします。



四万十町青少年育成町民会議

第3回育成事業 クラフト教室

8月22日、夏休み木工教室第2弾として、「クラフト教室」を農村環境改善センターで行いました。クラフトというのは、エコテープのことで、荷物の縛りひもなどにも使われています。

最近ではカラフルになっていて、活用の仕方もさまざまです。今回のクラフト教室には、四万十町内の児童42名が参加し、編みカゴ作りを行いました。

講師の山崎住香さんの指導のもと、「カエルさん」「ブタさん」「ペンギンさん」「ネズミさん」の4つの班に分かれて、それぞれパーツを編み込んで、編みカゴを作りました。子どもたちは、とってもかわいい編みカゴができて、満面の笑みを浮かべていました。



それぞれパーツを編み込んで、編みカゴを作りました。子どもたちは、とってもかわいい編みカゴができて、満面の笑みを浮かべていました。